

屋久島生態系モニタリング

屋久島南部植生垂直分布調査 (平成15年度調査)

・湯泊林道沿い(標高400m地点)

プロットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内に設定した。付近は、沢部右岸の緩～急斜面である。プロットの南側は、いくつかの岩を経て小尾根になっている。

プロットの階層別植生は、高木層では、全体として植被率が低くなっている。おもな出現樹種は、シマサルスベリ・ヤクシマオナガカエド・エゴノキ・バリバリノキで、個体数は少ないがハマセンダン・フカノキも混生する。

亜高木層では、ハドノキが最も多く、ついでモクダチバナ・イヌビワ・アオガシの個体数が多い。他にはヒサカキ・シマサルスベリ・フカノキ・スダジイ・バリバリノキが生育する。個体数は少ないが、ミスバイ・ヤマビワなども出現する。

低木層では、モクダチバナが最も多いがバリバリノキ・ヒサカキ・ハドノキも多い。植被率は約10%と低いものの出現種数は多い。(24種)

草本層では、カツモウイノデ・ヒロハノキ・リシダ・ホウビシダ・ハツカダ・リュウビシダ・ツルホコケ・ヌカホシクリハラシなど、シダ植物が多い。シマウスンリョウ・ヤクシマアジサイ・ルミノキ・フウトウカヅラ・ヒメアリノウシも個体数が多く植被率が高い。

かどの更土のを屋 国世農
とのま特新埋自学久生有界林九
いよた徴等木然ぶ島徒林自大月
っ、を、観たのたを然学二
たな過学屋倒察め森ち視遺の二
、形去び久木コヤ林は察産学日
中でにま杉上クの、しの生に
西伐屋し林更スス現短ま島一、
専採久たの新をギ状いし、一静
門さ杉。生、歩ラや期た屋名岡
官れが態切きン歴間。久が県
のた、系株、ド史で島、立

屋久島立農林大学生の視察



専門官の話聞く大学生

ましく、無日など。終了する。こと怪ができ。
とりな屋久島の質をきた。
いう、て、屋久島の質をきた。
説明に、大変興味を持って、
お願、い、た、し、ます。ご協力を。

一定の期間は、
平成17年10月20日から平成
18年3月20日まで
成り、一年間、この期間中
な、つ、て、い、ます。この間に
は、皆、雲、水、の、利用、を
願、い、たい、します。ご協力を。

林野庁屋久島森林環境保全センター発行
調査研究は、環境省の
本調査研究は、環境省の
し、会、の、館、団、(ト、る、様、け、象、林、
本、た、議、月、関、上、屋、久、島、の、財、屋、久、島、の、地、元、説、明、会、が、
調、査、研、究、は、環、境、省、の、関、係、機、関、が、参、集、し、て、開、催、さ、れ、ま、
し、会、の、館、団、(ト、る、様、け、象、林、
本、た、議、月、関、上、屋、久、島、の、財、屋、久、島、の、地、元、説、明、会、が、



地元説明会の模様

環境省支援プロジェクト

調査研究成果の 発表会開催

支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、
支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、
支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、
支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、支、援、を、受、け、て、研、究、し、た、こ、の、研、究、の、結、果、を、

屋久島の植物



ヘツカリンドウ
りんどう科

白谷雲水峡観察道の補修工事実施中



工事箇所 弥生杉

草、本、九、州、南、部、に、分、布、す、る、二、年、生、
の、花、の、茎、が、六、七、cm、の、葉、の、長、さ、が、
、花、の、茎、が、六、七、cm、の、葉、の、長、さ、が、
、花、の、茎、が、六、七、cm、の、葉、の、長、さ、が、
、花、の、茎、が、六、七、cm、の、葉、の、長、さ、が、

屋久島森林生態系保護地域などにおける学術調査等の入林状況

1 動物関係

(平成17年4月1日から平成17年10月31日受付分)

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
矢原徹一	ツバキ・シヅメノミ共進化系の空間動態を探るため	1~275	九州大学大学院理学研究院	
寺川真理	サルの採食行動調査、ヤマモモの種子散布の調査のため	1~4	広島大学大学院 井鷲研究室	
半谷吾郎	ニホンザルの調査	6~10, 12	京都大学 霊長類研究所	
鈴木真理子	ヤクシマザルの行動調査	1~4	京都大学 霊長類研究所	
香田啓貴	野生ニホンザルの行動調査	1~4	京都大学 霊長類研究所	
西川真理	サルの樹木利用の調査	2	京都大学理学研究科 人類進化論教室	
脇山成二	「ヤクシカの生息密度と森林生態系に与える影響に関する研究」	49-51,52-54,89,90,213,214,95,96,99,100,101,213外	(財)自然環境研究センター	
杉浦秀樹	西部林道周辺のヤクシマザルおよびヤクシカの頭数	1~4	京都大学 霊長類研究所	
長尾英幸	日本産モチビョウキンの分類学的研究と遺伝資源の	22, 83, 93	(独)農業生物資源研究所	
半谷吾郎	ニホンザルの調査	6~10, 12	京都大学霊長類研究所	
半谷吾郎	ニホンザルの調査	6~10, 12	京都大学霊長類研究所	
永井真紀子	ニホンジカの調査のため	鹿ノ沢小屋~宮之浦岳登山道付近,大川・鍋山林道付近	横浜国立大学環境情報生態学研究室	
早川祥子	野生ニホンザルの遺伝・生態学的研究	平瀬1~4	京都大学 霊長類研究所	
鈴木 真理子	ヤクシマザルの行動調査	平瀬1~4	京都大学 霊長類研究所	
山極 寿一	ニホンザル未成熟個体の採食生態に関する研究	1~3	京都大学大学院理学研究科動物学教室	
清野 末恵子	西部地域に生息するヤクシマザルの研究のための予備調査	平瀬1~4	京都大学理学研究科 人類進化論教室	
永井 真紀子	ニホンジカの調査	3~9,12,13,18,239,266,267	横浜国立大学環境情報生態学研究室	
中川 尚史	西部林道周辺のヤクシマザルの行動調査	平瀬1~4	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻	

2 植物関係

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
矢原徹一	植物種の分布調査及びヤクシカによる植物の食害状況調査	2-4,7-17,20-35,38-40,43-44,47-5759-63,66-72外	九州大学大学院理学研究院	
相場慎一郎	屋久島の天然林の純一次生産量推定	2, 4, 9, 14, 76, 81外	鹿児島大学理学部	
揚妻直樹	ヤクシカが森林植生に与える影響を明らかにする	1-4,9-15,49-58,69-71,75	北海道大学北方生物圏フィールド科学センター	
高嶋敦史	光環境及び伐根の調査	14, 80, 86	九州大学 森林計画学研究室	
野間直彦	生態学の研究(果実の年変動と鳥獣害、シカによる実生の食害、照葉樹林の動態、葉の寿命の変異など)	1-4	滋賀県立大学	
吉丸博志	屋久島森林生態系における固有樹種と遺伝子多様性の保全に関する調査	2-5,10-11,13-14,16,17,19,22,47-49,53,55-60,62-63外	(独)森林総合研究所	
出口 博則	屋久島における蘚苔類の多様性とその分布を明らかにすることを目的とする	島内の各歩道、宮之浦登山道、安房森林鉄道96支線	広島大学大学院理学研究科生物科学専攻	
辻野 亮	植生調査および菌類相、ヤクシカによる採食圧調査	257,258,270,272,273,275,249,250,251,242,69,70,204	京都大学生態学研究センター	
大谷 達也	アコウの結実状況およびヤクシマザルによる果実採食の観察	2~4	(独)森林総合研究所九州支所森林生態系研究グループ	
吉田 茂二郎	樹木番号プレート交換、立木位置図作成・伐根、倒木位置図作成及び年輪コアサンプル採取	17, 80, 86	九州大学 森林計画学研究室	
舘野 正樹	東京大学理学部生態学野外実習(毎木調査)	平瀬3, 4	東京大学大学院理学系研究科附属植物園日光分園	

3 その他

入林代表者氏名	入林目的	入林箇所	所属	備考
池田 博	植物採集	97,98,99,100,101	岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科	
宮本 太	植物採集	97~99,100~101	東京農業大学農学部農学科	
芹沢俊介	レッドテアブック改訂のための資料収集及びヤクシカによる林床植物食害調査支援	7-9,12,13,265-271,18,19,22,53,54,75,76外	愛知教育大学自然科学系生物領域	
松元 順	酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査	2, 9	鹿児島県農業試験場土壌肥料部	
杉浦秀樹	第7回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため	1~4	京都大学 霊長類研究所	
塚谷裕一	第7回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため	57,65,87~90,101,103,外	基礎生物学研究所	
鈴木 滋	第7回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため	2, 9~11, 257~260	龍谷大学国際文化学部	
村上哲明	第7回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため	49~57,71,72,8082,86,87外	京都大学大学院理学研究科植物学教室	
疋田 努	第7回屋久島フィールドワーク講座野外実習のため	1~4, 74~80, 108外	京都大学大学院理学研究科動物学教室	
長尾英幸	日本産モチビョウキンの分類学的研究と遺伝資源の保存	22, 83, 93	(独)農業生物資源研究所	
DAVID HILL	コウモリの調査	1~4, 雲水峡周辺外	アメリカ合衆国サセックス大学	